

開示事項 (※1)	SDGsとの対応関係 (※2)	ページ	CONTENTS
GRI 2: 一般開示項目 2021			
1. 組織と報告実務			
2-1	組織の詳細	05	組織のプロフィール
2-2	組織のサステナビリティ報告の対象となる事業体	37-38	編集方針について
2-3	報告期間、報告頻度、連絡先		
2-5	外部保証		
2. 活動と労働者			
2-6	活動、バリューチェーン、その他の取引関係	03-04, 13-15, 16-18, 19-20, 20	北海道大学2022ハイライト, サステナビリティ活動, サステナブルキャンパスマネジメント本部の活動とWGの取り組み, 認定・プロジェクト・採択, 研究・教育
2-7	従業員	8 10	05 組織のプロフィール
3. ガバナンス			
2-9	ガバナンスの構造と構成	5 16	09-10 ガバナンス・コンプライアンスの強化
2-14	サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割		37-38 編集方針について
2-15	利益相反	16	09-10 ガバナンス・コンプライアンスの強化
2-16	重大な懸念事項の伝達		09-10 ガバナンス・コンプライアンスの強化
2-17	最高ガバナンス機関の集会的知見		21 ステークホルダーとの協議
2-18	最高ガバナンス機関のパフォーマンス評価		09-10, 11-12 ガバナンス・コンプライアンスの強化 サステナブルキャンパスのマネジメント手法
4. 戦略、方針、実務慣行			
2-22	持続可能な発展に向けた戦略に関する声明		02 トップメッセージ
2-23	方針声明	16	07-08, 09-10 基本理念・戦略 サステナビリティに関する方針・施策
2-26	助言を求める制度および懸念を提起する制度	16	06 サステナビリティ推進体制
2-27	法規制遵守		30 環境コンプライアンス
5. ステークホルダー・エンゲージメント			
2-29	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ		21 ステークホルダーとの協議
GRI 3: マテリアルな項目 2021			
3-1	マテリアルな項目の決定プロセス		11-12 サステナブルキャンパスのマネジメント手法
3-2	マテリアルな項目のリスト		
3-3	マテリアルな項目のマネジメント		
マテリアルな項目			
GRIスタンダード 200シリーズ (経済項目)			
経済パフォーマンス 2016			
201-1	創出、分配した直接的経済価値	8 9	31 2022年度の財務構造と収支の推移
201-4	政府から受けた資金援助		
地域経済での存在感 2016			
間接的なインパクト 2016			
203-1	インフラ投資および支援サービス	5 9 11	32, 33 地域への貢献、地域との連携, インフラ投資と調達に関する取り組み
203-2	著しい間接的な経済的インパクト	1 3 8	03-04, 11-12, 13-15, 19-20, 32 北海道大学2022ハイライト, サステナブルキャンパスのマネジメント手法, サステナビリティ活動, 認定・プロジェクト・採択, 地域への貢献、地域との連携
調達取行 2016			

開示事項 (※1)	SDGsとの対応関係 (※2)	ページ	CONTENTS
204-1 地元サプライヤーへの支出の割合	8	33	インフラ投資と調達に関する取り組み
腐敗防止 2016			
205-1 腐敗に関するリスク評価を行っている事業所	16	09-10	ガバナンス・コンプライアンスの強化
205-2 腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	16		
反競争的行為 2016			
税務 2019			
GRIスタンダード 300シリーズ (環境項目)			
原材料 2016			
301-3 再生利用された製品と梱包材	8 12	33	インフラ投資と調達に関する取り組み
エネルギー 2016			
302-1 組織内のエネルギー消費量	7 8 12 13	22, 23	環境への取り組み, エネルギー消費量と再生エネルギーの取り組み
302-3 エネルギー原単位	7 8 12 13	22, 23	環境への取り組み, エネルギー消費量と再生エネルギーの取り組み
302-4 エネルギー消費量の削減	7 8 12 13	23, 24	エネルギー消費量と再生エネルギーの取り組み, 省エネルギーの取り組み
302-5 製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	7 8 12 13		
水と排水 2018			
303-2 排水に関連するインパクトのマネジメント	6	26, 30	水と排水, 環境コンプライアンス
303-3 取水	6	22, 26,	環境への取り組み, 水と排水
303-4 排水	6		
303-5 水消費	6		
生物多様性 2016			
304-1 保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイト	6 14 15	29	生物多様性
304-3 生息地の保護・復元	6 14 15		
大気への排出 2016			
305-1 直接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ1)	3 12 13 14 15	22, 25	環境への取り組み, 温室効果ガス排出と、研究林の活用によるCO2吸収の取り組み
305-2 間接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ2)	3 12 13 14 15		
305-4 温室効果ガス (GHG) 排出原単位	13 14 15	24, 25	省エネルギーの取り組み, 温室効果ガス排出と、研究林の活用によるCO2吸収の取り組み
305-5 温室効果ガス (GHG) 排出量の削減	13 14 15		
排水および廃棄物 2016			
306-1 排水の水質および排出先	3 6 12 14	22, 26	環境への取り組み, 水と排水
306-2 種類別および処分方法別の廃棄物	3 6 12	22, 27, 28, 30	環境への取り組み, 廃棄物/資源循環, ごみ削減・資源循環の取り組み, 環境コンプライアンス
306-4 有害廃棄物の輸送	3 12	30	環境コンプライアンス
環境コンプライアンス 2016			
307-1 環境法規制の違反	16	30	環境コンプライアンス
サプライヤーの環境面のアセスメント 2016			
308-1 環境基準により選定した新規サプライヤー		33	インフラ投資と調達に関する取り組み

開示事項 (※1)	SDGsとの対応関係 (※2)	ページ	CONTENTS
308-2 サプライチェーンにおけるマイナスの環境インパクトと実施した措置		33	インフラ投資と調達に関する取り組み
GRIスタンダード 400シリーズ (社会項目)			
雇用 2016			
労使関係 2016			
労働安全衛生 2018			
403-1 労働安全衛生マネジメントシステム	8	35	安全衛生
403-2 危険性 (ハザード) の特定、リスク評価、事故調査	8		
403-3 労働衛生サービス	8		
403-4 労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	8 16		
403-5 労働安全衛生に関する労働者研修	8		
403-6 労働者の健康増進	8		
403-7 ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	3		
403-8 労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	8		
研修と教育 2016			
404-2 従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	8		
ダイバーシティと機械均等 2016			
405-1 ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	5 8	36	ダイバーシティ&インクルージョン/先住民族
非差別 2016			
結社の自由と団体行動 2016			
児童労働 2016			
強制労働 2016			
保安取行 2016			
先住民族の権利 2016			
人権アセスメント 2016			
412-1 人権レビューやインパクト評価の対象とした事業所		36	ダイバーシティ&インクルージョン/先住民族
412-2 人権方針や手順に関する従業員研修			
地域コミュニティ 2016			
413-1 地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所		32, 34-35	地域への貢献、地域との連携、社会連携
413-2 地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト (顕在的、潜在的) を及ぼす事業所		34-35	社会連携
サプライヤーの社会面のアセスメント 2016			
414-1 社会的基準により選定した新規サプライヤー	5 8 16	33	インフラ投資と調達に関する取り組み
公共政策 2016			
顧客の安全衛生 2016			
マーケティングとラベリング 2016			
顧客プライバシー 2016			
経済社会面のコンプライアンス 2016			

※1 GRIスタンダードの開示事項の内、本レポートで扱っていない項目は本表から省略しております。

※2 GRIスタンダードの開示事項と対応関係があるとされるSDGsのゴールを数字で記載しております。
参考文献) Linking the SDGs and the GRI Standards (GRI, 2022)